

患者さんの負担金軽減と医療費抑制のため 後発医薬品の使用を推進しています！ 先発医薬品と後発医薬品

後発医薬品（ジェネリック）の安価な理由

新薬の開発には9～17年もの月日と、約500億円もの投資が必要といわれています。新薬は、先に発売されているので、先発医薬品ともいいます。先発医薬品は特許を取得しており、一定期間が過ぎると特許の有効期限がなくなります（20～25年）。後発医薬品は、先発医薬品の特許が切れてから、同じ有効成分を使って別の会社で発売されるお薬です。同じ有効成分を使って、同じ効き目、安全性となるように作ったお薬ですが、特許が切れているため開発費を大幅に削減でき、価格を安く抑えられます。



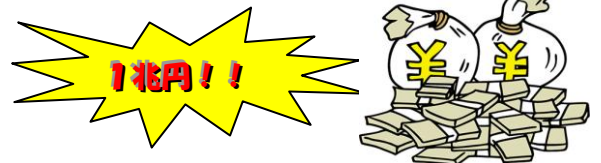
先発医薬品と後発医薬品の違い

先発医薬品と同じでなければいけないところとして、有効成分、有効成分の量、効き目、安全性があります。一方、違いがみとめられているところとしては、色、形、添加物などがあります。この違いを利用して、先発医薬品よりも改良したお薬を作ることができます。たとえば、水なしで飲める口腔内崩壊錠、錠剤の大きさが小さいもの、味やにおいがいいものなどがあります。



後発医薬品で患者さんの負担軽減と国民医療費1兆円の節減

後発医薬品は、患者さんの負担金を軽減し、日本の医療費を節減します。少子高齢化が進む日本では国の医療費節減が大きな課題になっています。日本の薬剤費は年間7兆円といわれていますが、そのうち1兆円は後発医薬品に変えることで節減できるといわれています。



当院でも導入をすすめています

後発医薬品の価格は、同じ有効成分であっても、会社によって価格が異なります。当院では、価格だけでなく安定供給の面などさまざまな要素を考慮して、信頼できる会社の後発医薬品を選択し、導入をすすめています。しかし、後発医薬品は一般名というあまりなじみのない名前が多く、これまでとお薬の名前がかわってしまいます。どのお薬が以前服用していたお薬と同じなのか、わからなくなってしまう時には薬剤科までお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

♪ お問い合わせ先 薬剤科 ♪
♪ ご希望の方はご自由にお持ちください。 ♪



今月の医療

～こんな治療・検査をご存じですか

【女性腹圧性尿失禁に対するメッシュを用いた

TVT手術について — 泌尿器科 —】

腹圧性尿失禁とは？

腹圧性尿失禁（咳、くしゃみや立ち上がった拍子などに尿がもれてしまう）は**女性に多く見られる病気です**。尿失禁の程度が軽い場合には運動（骨盤底筋体操）と薬（薬物療法）で治療を行いますが、もれる量が多い場合には手術を行います。



どんな手術をするの？

手術負担が軽く、かつ安定した長期成績を得ることをめざして開発された新しい方法として**TVT手術**があります。TVTとは「ピンと張っていないテープ」という意味で、ポリプロピレンという合成繊維でできたメッシュ状のテープを使用します（図1）。

手術方法は、下腹部と膣前壁を1cmほど切開して、そこにメッシュ状のテープを挿入します（図2）。このテープを尿道の下に通して体内に留置しておくことで、テープの網目やその周辺にコラーゲンや結合組織が付着して尿道を支える役割を果たし、**腹圧がかかっても尿漏れが起こりにくくなります**。傷も小さいため、**数日での退院が可能**です。

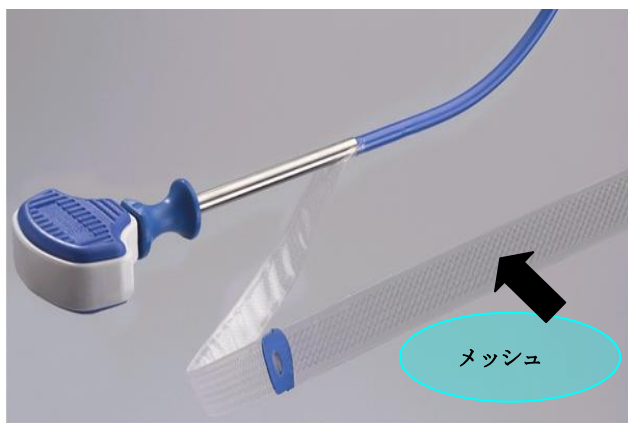


図1

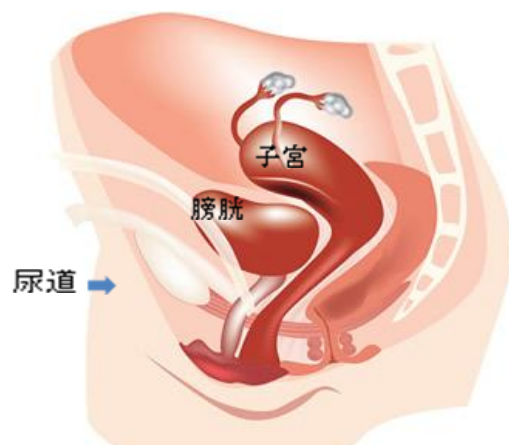


図2

他の病気にもメッシュ手術が適用されています

このメッシュを用いた手術は、他に骨盤臓器脱（^{ぼうこうりゅう}膀胱瘤、子宮脱など）に行う**TVM手術**（メッシュで膀胱や子宮を支える）もあります。利点は、**①元来、性器があるべき自然な位置での整復が可能、②再発が少ない、③手術による組織の損傷が少ない**点が挙げられます。

今後当院では腹圧性尿失禁の手術や骨盤臓器脱に対する手術を泌尿器科と婦人科で協力して行っていく予定ですので、お悩みの方は気兼ねなく相談してください。

泌尿器科医員 小林 秀一郎

☆ 当院は紹介予約制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。